

絵本の力

飛澤 くみこ

私には、6か月の息子がいます。慣れない育児で大変ですが、毎日少しずつ成長をしていく彼を見ていると幸せで仕方ありません。

息子に読み聞かせを始めたのは、まだ1か月になる前のことです。主人や母には、

「まだ言葉もろくにわからないのに・・・」

と笑われましたが、毎日二冊ゆっくりと読み聞かせることをスタートしました。

私は教育熱心なママという訳ではないし、毎日家事と育児だけでヘトヘトですが、始めてみようと思ったきっかけがあります。それは、息子が産まれた時に区役所でいただいた書類の中に入っていた小さな本、柳田先生の

「みんな絵本から」でした。何気なく読んでみて、ドキッしました。「お母さん、わたしを見て!」のページを読んで、すぐに携帯、テレビの電源を切って息子をあやしてみると、今まで見たことのないすごく嬉しそうな顔。何だか申し訳なく感じました。

それから、毎日息子と遊ぶ時間はテレビや携帯なしでじっくり遊んであげること、毎日絵本を二冊読んであげることが、私の日課になりました。始めて2か月もすると、面白い発見をすることが出てきました。息子の好きな本には特徴があることです。特にパンダやお弁当の出てくる本が大好きです。一番のお気に入り「10パンダ」と「おべんとうバス」です。「じゃあじゃあびりびり」のような擬音が多い本も大好きです。もう少し大きくなったらそんな息子と一緒に、お弁当バスに出てくるお弁当を作って、動物園にパンダを見に行くのが今から楽し

みです。

息子の好みが分かってくると、一緒に図書館で本を選ぶのも楽しくなってきました。

「ちよつとまだ早いかな。」

という本でも意外に反応がよかったり、自分が小さいころ好きだった「はらぺこあおむし」の本を歌いながら見せたりと、私も息子と一緒に本の世界を楽しむようになりました。

そしてもう一つ嬉しい変化がありました。主人が一緒に図書館について来るようになり、今では息子と二人で本を借りに行ってくれるようになったことです。パパならではの本の読み方があるのか、息子はパパに読んでもらうと大笑いです。毎月息子が産まれた19日に、一冊本を選んでプレゼントするという素敵なアイディアは主人が出してくれました。毎月家族で本屋さんに行くのも

楽しみです。

柳田先生、携帯よりも絵本で「子どもが変わる、大人も変わる」って本当ですね。我が家はテレビや携帯を切って家族で本を開く時間を設けたことで、自然と食事中もテレビではなく会話を楽しむようになりました。あの日荒川区から出産祝いでいただいた小さな本は、私たちの生活を心豊かにしてくれました。本の力ってすごいんですね。これからも、息子に絵本でいろんな世界を見せてあげたいと思っています。

【柳田邦男さんからのメッセージ】

私は飛澤さんの手紙を読んで、小躍りしたくなるほど嬉しくなりました。

荒川区が赤ちゃんの生まれた家庭にプレゼントする私の作ったハンドブック『みんな絵本から』のメッセージの一番大事な心得

を、すぐに実践して、すばらしい成果をあげていることを伝えてくださったからです。

「(そのハンドブックの)『お母さん、わたしを見て!』のペー
ジを読んで、すぐに携帯、テレビの電源を切って息子をあやして
みると、今まで見たことのないすごく嬉しそうな顔。何だか申し
訳なく感じました」

この瞬間、飛澤さんの子育ての姿勢が変わったのですね。多く
の家庭で見られるのは、赤ちゃんや幼児としっかり向き合わなけ
ればいけないときでも、テレビをつけっ放しにして、親がちらち
ら見ていたり、あるいは携帯やスマホを操作していたりする情景
です。

乳幼児は、親がしっかりと自分と向き合っているかどうか、い
つも注目しています。¹⁰⁰パーセント自分と向き合っていると、子
どもの心は安心感で穏やかな感情になります。

そういう中で、絵本を読み聞かせをすると、子どもはどんどん

絵本に集中して、親の感情をこめた声に誘われて、絵本の世界に
入りこみ楽しみます。言語力、感性・感情、文脈理解力などがど
ンドン発達します。

私の友人の娘さんは、ご主人の仕事の都合でアメリカで子育て
をしました。私の助言通りに、一歳時からテレビをつけずに、毎
日日本の絵本をしっかり読み聞かせをするのを続けたら、五歳で
アメリカ人の子ばかりの幼稚園に入ってから半年で英語がわかるよう
になり、アメリカの小学校に入ってからはずっと成績がクラス
のトップでした。理解力、表現力の発達がすばらしいのです。

飛澤さんの絵本の読み聞かせに、また6か月の子がいかにくい
ぐいと食い入るように関心を寄せ、感情豊かに反応してくれるか
が、手紙に生き生きと表現されていますね。

ご主人もつられて、絵本選びや読み聞かせをするようになった
とのこと。

「我が家はテレビや携帯を切って家族で本を開く時間を設けたこ

とで、自然と食事中もテレビではなく会話を楽しむようになりました」

とのこと。すばらしいです！

息子さんがやがて小学生になっても、そんなライフスタイルを続けてくださいね。